

健康で豊かな高齢社会のために 名古屋大学ライフトピア

第164回大幸ライフトピア連携研究会

保健学セミナー

日時：2026年 **7月29日** (水) 18:15~19:45

形式：ハイブリッド（対面+Zoom配信）

会場：名古屋大学大幸キャンパス 本館2階 第2講義室

対象：本学内の大学院生、学部生、教員、医療従事者

慢性疾患と共に生きる人々の暮らしを支える

—Positive HealthとHouse as Homeの観点からの考察—

総合保健学専攻 看護科学 助教

拝田一真 先生



WHOは、健康を「身体的・精神的・社会的に完全に良好な状態であり、単に疾患がない、虚弱でないことではない」と定義した。しかし、慢性疾患患者、在宅療養が増える現代においては、このような完全性を満たすことは難しく、新しい考え方が必要になってきている。

このような背景のなか、Huberは「社会的・身体的・感情的問題に直面した際に適応し自ら管理できる能力としての健康」というPositive Healthを提案した。また、多くの人々は病院や施設ではなく在宅療養を望んでいるが、その体験は、様々な影響を受けながら、単純な物理的単位としてのHouseと個人的な意味に満ちたHomeの間で揺れ動いている。

本セミナーでは、Positive HealthとHouse as Homeの観点から、慢性疾患と共に生きる人々の暮らしを支えるとは何かを受講生と共に考えていく。

このセミナーは保健学セミナー（THP養成コース）の単位認定プログラムです。

問合せ先： kawashima.arisa.s9 (@) f.mail.nagoya-u.ac.jp

担当：川島